

令和 5 年度 東京都立埋蔵文化財調査センター 指定管理事業報告



令和 6 年 8 月 2 日
公益財団法人東京都教育支援機構
東京都埋蔵文化財センター



令和 5 年度の指定管理事業について報告します。

発掘調査事業との一体的管理①

発掘調査事業

都内全域:27件
受託金額:約33億6千万円
調査研究員数:49名



学識
・
経験

指定管理事業

実際に発掘調査に携わる多数の調査研究員が質の高い展示・体験教室・講演会などを行う。



指定管理に係る3つの基本方針に即して説明いたします。

3つの基本方針とは、指定管理業務を受託するにあたって、わたくしたちが定めたもので、「発掘調査事業との一体的管理」、「多様な企画事業の実施」、「適切な施設管理」です。

まず、「発掘調査事業との一体的管理」についてです。
当センターは、発掘調査事業を都内全域で展開し、考古学の専門家である調査研究員49名が、埋蔵文化財の発掘調査と記録保存を行っています。
発掘調査でつちかった学識と経験を、指定管理事業にいかしています。

発掘調査事業との一体的管理②

おかびと
常設展示『丘陵人の宝もの～遺跡から見た多摩丘陵の歴史～』

調査研究員が、展示する土器などを選別し工夫を凝らして展示



常設展示では、所蔵する多摩ニュータウン遺跡の遺物を活用し、「おかびとの宝もの」と題して時代順に展示しています。

この展示は、実際に調査にあたった調査研究員が展示・解説をしたもので、発掘調査と一体となった当センターならではのものとなっています。

5年度は、古墳時代から奈良時代の展示を最新の知見に基づき更新しました。

発掘調査事業との一体的管理③

遺跡発掘調査発表会

遺跡発掘調査発表会2023 87名



発掘現場での遺跡見学会

「文京区 原町西遺跡」8回	184名
「東久留米市 川岸遺跡」	10名
「文京区 小日向一・二丁目遺跡」	11名
「港区北 青山三丁目遺跡」	25名
「港区 No.119遺跡」	140名
「港区 No.119・218遺跡」2回	40名
延14回	計410名

「遺跡発掘調査発表会」は、実際に調査に携わった調査研究員が最新の発掘成果を解説するもので、87名に参加いただいたほか、開発事業者の協力を得て遺跡見学会を開催し、410名が参加されました。

発掘調査事業との一体的管理④

「今月の逸品コーナー」で発掘中の速報展を実施

「文京区原町西遺跡」江戸時代の資料（カワラケ、土玉）

「豊島区長崎一丁目周辺遺跡」昭和の資料（集束焼夷弾E46ノーズブロック）



さらに、毎月展示替えを行う「今月の逸品コーナー」では、速報展として、「文京区原町西遺跡」のカワラケや「豊島区長崎一丁目周辺遺跡」の焼夷弾の弾頭などを紹介しました。

発掘調査事業との一体的管理⑤

より専門的な体験をしていただく「考古学講座」

調査研究に携わる調査研究員が専門的な体験を直接指導



また、考古学講座では、調査研究員が実際に行っている土器の破片の見方を解説しました。「拓本や断面の実測」の実習をしていただき好評でした。

発掘調査事業との一体的管理⑥

展示ホール以外も活用

お客様に大人気の体験コーナー（調査研究員がほとんどの体験用具を作成）



江戸遺跡の発掘調査成果に関する展示

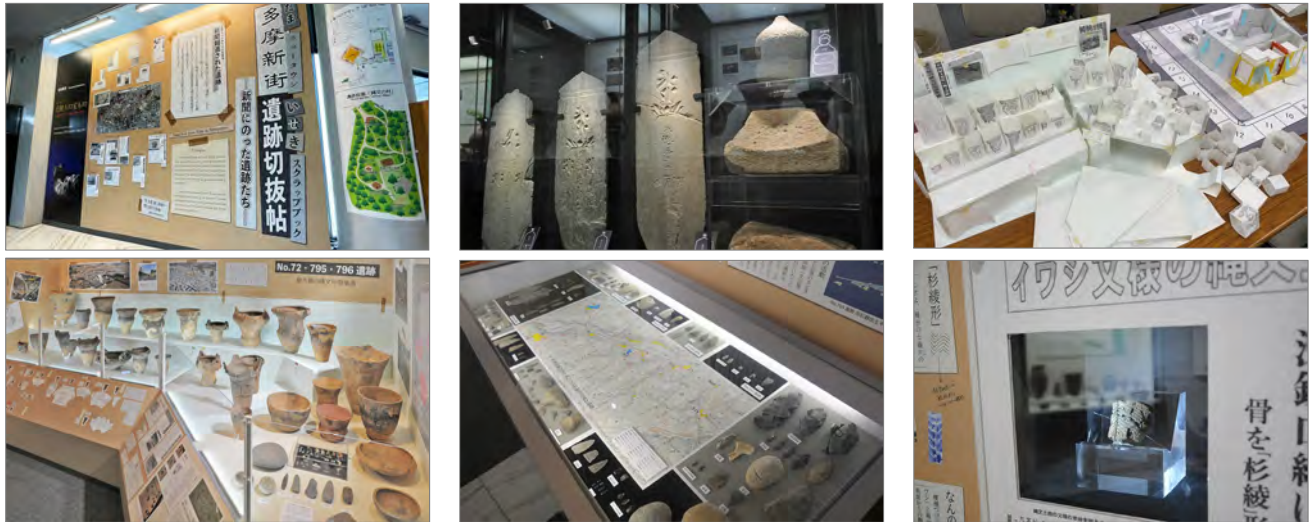


展示ホール以外のエリアも、大人気の体験コーナーや、わたくしたちが調査した江戸遺跡の展示などに活用しています。

5年度は体験コーナーの多言語化推進など一部リニューアルしました。

多様な企画事業の実施①

令和5年度企画展示『多摩^{ニュータウン}新街遺跡^{スクラップブック}切抜帖-新聞にのった遺跡たち-』
多摩ニュータウン遺跡の中から、かつて新聞紙面を飾った遺跡を当時の記事と共に紹介
当センターにお越しただけでない方に向けて、特設サイトも公開しました。



続いては、「多様な企画事業の実施」についてです。

5年度の企画展示は、964か所に及ぶ多摩ニュータウン遺跡から、かつて新聞紙面を飾った遺跡を当時の記事とともに紹介し、その価値をあらためて発信しました。

企画展示は、経験豊かな職員が手作りした模型を使って企画構成を練りました。
また企画展示の特設Webサイトも公開しました。

多様な企画事業の実施②

東京文化財ウィークに合わせた国指定重要文化財の特別展示



教育庁が開催する東京文化財ウィーク2023に合わせ、収蔵している国指定重要文化財「東京都前田耕地遺跡出土品」の中から、「尖頭器」などを公開しました。

多様な企画事業の実施③

体験型イベント

縄文土器作り 勾玉・耳飾り作り トンボ玉作り など

縄文土器作り



勾玉・耳飾り作り



トンボ玉作り



親子縄文土器作り



砦打ちによる糸作り



ムクロジでシャボン玉作り



続いて、体験型イベントです。

定番の土器づくりや勾玉づくりなどのほか、職員が栽培した「カラムシ」という植物を材料にする「糸作り」、庭園で採集したムクロジの実を使った「シャボン玉づくり」など、当センターならではの体験教室は、非常に好評です。

多様な企画事業の実施④

遺跡庭園「縄文の村」を解説する「遺跡庭園解説会」や、
学芸員による展示解説など

遺跡庭園解説会



企画展示解説



学芸員ギャラリートーク



文化財ウィーク特別展示解説



続いては、学芸員が様々な展示などを解説する行事です。
都の史跡である多摩ニュータウンNo.5 7遺跡を解説するとともに、植生の復元や、
遺跡の保存などについて解説する「遺跡庭園解説会」、「企画展示解説」、「学
芸員ギャラリートーク」、「文化財ウィーク特別展示解説」など、いずれも
考古学の専門家である調査研究員が解説し、大変好評でした。

多様な企画事業の実施⑤

会議室を使用する講演会・イベントなど

文化財講演会



映像上映会



遺跡発掘調査発表会2023



縄文土器観察会



お子さま考古学教室



会議室を使用するイベントとして、5年度は講演会や映像上映会などのほか、本物の土器を観察しながらスケッチする「縄文土器観察会」やオリジナル縄文土器カードで神経衰弱を行い、カードにかかれた遺物を展示ホールで解説する「お子さま考古学教室」も開催しました。

多様な企画事業の実施⑥

外部との連携事業

エルメス財団スキルアカデミー



八王子市生涯学習センター
市民自由講座



日本旧石器学会総会・研究発表・シンポジウム



外部との連携事業として、エルメス財団、八王子市生涯学習センター、日本旧石器学会など7団体と計9回の事業を実施し、638人に参加いただきました。連携事業は、東京都立埋蔵文化財調査センターの認知度向上にも役立っています。

多様な企画事業の実施⑦

学校教育と連携した取組

小学校団体見学



出前授業



職場体験



学校教育との連携として、団体見学の受け入れのほか、職員が学校まで出向いて、勾玉作りや火おこしなどを体験してもらう出前授業も行いました。また、中学生の職場体験では、様々なイベントの下準備などの体験をしてもらいました。

多様な企画事業の実施⑧

学校教育と連携した取組2

大学連携の見学や博物館実習等

No.	実施日	学 校 名	内 容	参加者数
1	5月14日(日)	学習院女子大学 工藤ゼミ	見学	21名
2	6月7日(水)	東京学芸大学	見学	7名
3	6月7日(水)	中央大学(院)	見学	7名
4	6月10日(土)	桜美林大学	博物館実習	3名
5	7月1日(土)	桜美林大学	博物館実習	3名
6	7月1日(土)	白梅学園大学	見学	5名
7	7月15日(土)	桜美林大学	博物館実習	3名
8	7月15日(土)	松陰大学	授業	10名
9	7月29日(土)	武蔵野美術大学	見学	7名
10	8月31日(木)	台湾・成功大学	見学	3名
11	10月21日(土)	大正大学	校外学習	27名
12	11月13日(月)	中央大学博物館メディア論授業	授業	37名
13	11月19日(日)	中央大学	見学	9名
14	12月16日(土)	東京都立大学	見学	17名
15	12月18日(月)	恵泉女学園大学	見学	35名
	合 計			194名

大学連携のインターンシップ

No.	実施期間	学 校 名	参加者数
1	8月28日～9月1日	法政大学	1名
2	8月28日～9月1日	駒沢大学	1名
3	8月28日～9月1日	帝京大学	1名
4	8月28日～9月1日	明治大学	1名
	合 計		4名

教職員に向けた研修

No.	実施日	団 体 名	参加者数
1	8月8日(火)	東京都立学校等資質向上研修	29名
2	8月9日(水)	東京都立学校等資質向上研修	31名
	合 計		60名

大学と連携した取組もしています。

見学や博物館実習など、全15回、194名を受入れました。また、インターンシップとして4校4名を受入れ、埋蔵文化財に係る講義と、発掘調査を体験してもらいました。

このほか、教員研修として、東京都教職員研修センターの事業を2日間実施し、60名を受け入れました。

適切な施設管理①

さまざまな施設修繕工事の実施

区分	件 名	内 容 等	目的・原因等
維持管理修繕工事等	1 地下収蔵庫の誘導灯の取替	地下収蔵庫の誘導灯の取替修繕	経年劣化による修繕
	2 排煙窓開閉ハンドルの修繕	会議室前廊下奥の排煙窓開閉ハンドルの修繕	経年劣化による修繕
	3 非常照明取替	非常照明・誘導灯動作検査の結果に基づく不具合箇所の修繕	経年劣化による修繕
	4 遺跡庭園内配水管の敷設工事	漏水箇所の修繕と合わせて、既存配管を点検・整備しやすい露出配管に交換	経年劣化による修繕
	5 「大丸模型」の修繕	不具合があった駆動部の回転制御盤部品及び台座部分を新品に取替	経年劣化による修繕
	6 男子トイレフラッシュバルブ取替	故障したフラッシュバルブを新品に交換	経年劣化による修繕
	7 2階温度調節器取替	故障した温度調節器を新品に交換	経年劣化による修繕
	8 非常灯の取替	故障した非常灯の取替修繕	経年劣化による修繕
	9 地下機械室のストレージタンク補修	ストレージタンク内部の腐食箇所等の補修	経年劣化による修繕
	10 1階駐車場門扉の戸車、壁面石材の修繕	1階駐車場門扉の不具合のあった戸車と脱落した壁面石材の修繕	経年劣化による修繕
	11 汚水槽にかかわるフロートスイッチ等修繕工事	地下汚水槽にかかわるフロートスイッチ、リレー、排水流入管の修繕	経年劣化による修繕
	12 屋上不良ラッキング取替修繕	屋上の配管について経年劣化したラッキングの取替	経年劣化による修繕
	13 熱交換器蒸気バルブパッキンの取替修繕	蒸気漏れが発生した蒸気バルブのパッキン取替修繕	経年劣化による修繕
	14 1階ピロティ石回りシーリング工事	経年劣化により、隙間が生じていた1階ピロティ天井一部の石回りのシーリング補修	経年劣化による修繕
	15 冷凍機の部品取替	動作不良があったATLと腐食した抽気ポンプを新品と交換	経年劣化による修繕
	16 排風機用Vベルト修繕	劣化した排風機用のVベルトを新品と交換	経年劣化による修繕

次に、適切な施設管理についてです。

築後39年を経たセンターは様々な修繕が必要です。

5年度はトイレ、空調設備、照明設備など16件の修繕工事を迅速・適切に実施しました。

適切な施設管理②

さまざまな施設設備の改善

区分	件 名	内 容 等	目的・原因等
改善工事等	1 2階展示ホール入口自動ドアの点検口更新工事	2階展示ホール入口の自動ドア点検口を交換	安全性及び点検時の利便性向上
	2 車椅子使用者対応トイレのオストメイト対応工事	車椅子使用者対応トイレにオストメイトの利用に必要な設備を導入	オストメイト対応、ユニバーサルデザイン化推進
	3 体験コーナー窓のロールカーテン更新工事	館内の遮熱及び遮光効果向上を図るため、体験コーナーのロールカーテンを更新	館内環境の向上

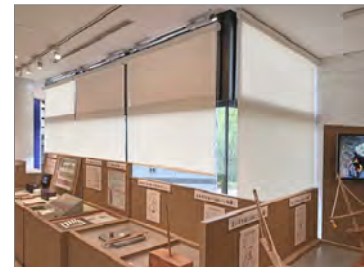
点検口更新



オストメイト対応



ロールカーテン更新



修繕のほか、バリアフリースイレにオストメイト対応設備を設置し、ユニバーサルデザイントイレに必要とされる設備を完備するなどの改善も行いました。

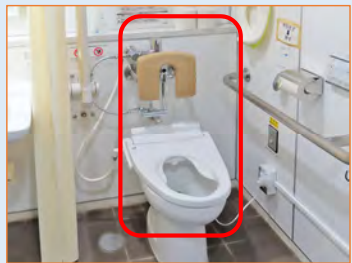
適切な施設管理③

ユニバーサルデザイン推進

改善前



改善後



認知度向上の取り組み



感染症拡大防止のための対策



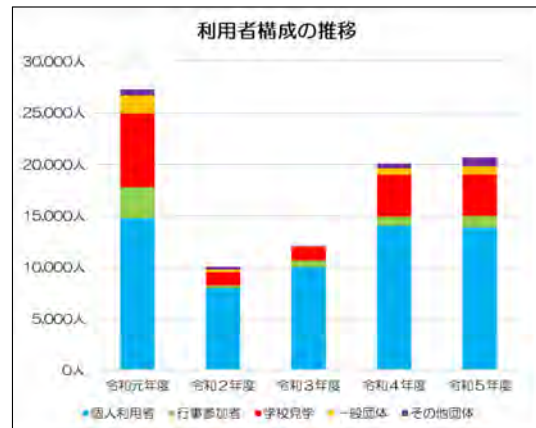
その一方で、毎年継続してきた遺跡庭園の通路を平滑にする工事などは、財政ひっ迫のため実施できませんでした。
 施設認知度向上にも取り組みました。
 参加している地域団体を通じて年間にわたって駅貼り広告を掲示しました。
 新型コロナウイルス対策として、5類移行までは徹底した対策を講じ、5類移行後も換気や消毒など基本的な対策を継続しました。

年間利用者数

令和5年度利用者数は20,670名

個人利用者は横ばい、団体利用者は約13%増

利用者区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人利用者	14,756人	7,968人	9,965人	14,045人	13,818人
行事参加者	2,989人	254人	688人	843人	1,141人
学校見学	7,136人	1,261人	1,273人	4,057人	4,046人
一般団体	1,769人	268人	71人	630人	787人
その他団体	614人	301人	64人	511人	878人
団体計	12,508人	2,084人	2,096人	6,041人	6,852人
合計	27,264人	10,052人	12,061人	20,086人	20,670人



年間利用者数についてです。

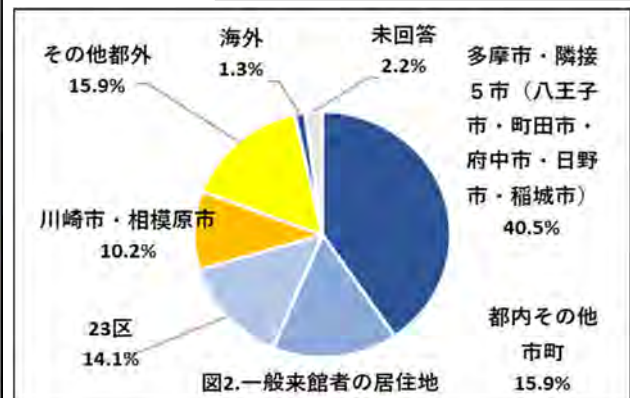
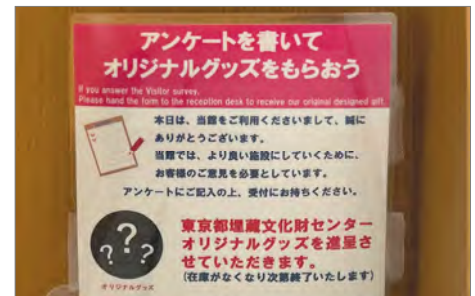
5年度は、計画どおり345日開館することができ、利用者は2万670名と、やや増加しました。

個人利用者は、1万4千人弱と、コロナ禍前の水準に近づいていますが、団体利用者は半数程度と、依然として少ない状況です。

なお、小学校の団体見学は、カリキュラム変更の影響もあって、最盛期の半数強にとどまっていますが、この傾向は今後も続くものと思われます。

お客様の声①

アンケート結果（一般来館者の特性）



最後に「お客様の声」についてです。

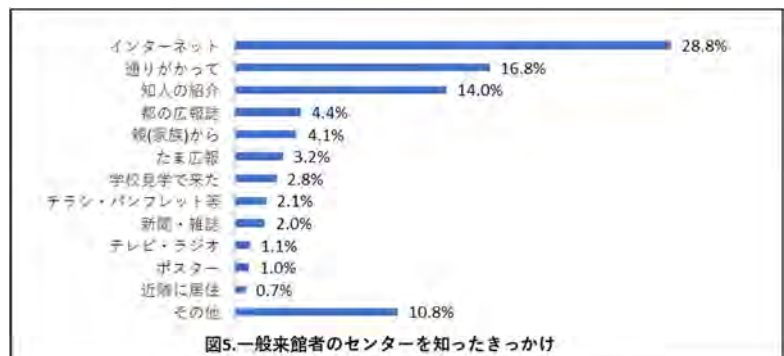
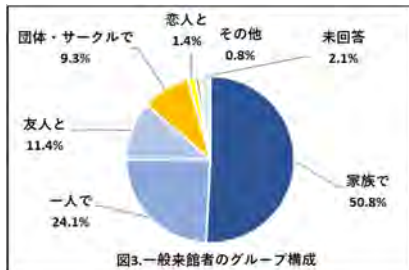
まず、一般来館者のアンケート結果です。

年齢層は、昨年度と同様に小学生以下と30代以上の方が多くなりました。

「どこからいらしたか」との問いについてもほぼ昨年度都同様でしたが、海外からのお客様は約4倍に増加しています。

お客様の声②

アンケート結果（一般来館者の特性）

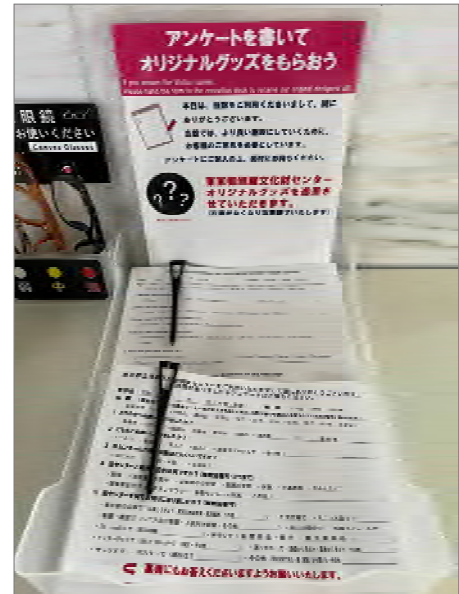
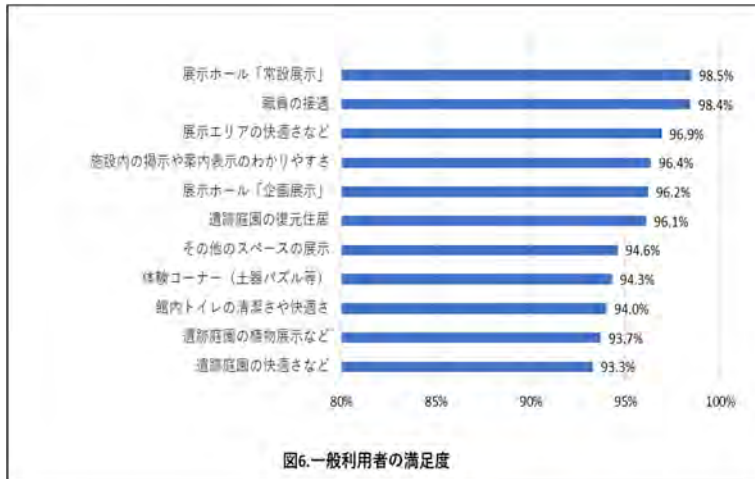


グループ構成は、昨年度とくらべて、「団体・サークル」でが、5.7%から9.3%と増えた一方、「友人と」、「一人で」はやや減となり、「家族で」は横ばいとなりました。

来所回数及び当センターを知ったきっかけは、昨年度とほぼ同様の結果となりました。

お客様の声③

アンケート結果（一般来館者の満足度）



満足度は、これまでと同様、各項目とも90%以上の高評価をいただきました。

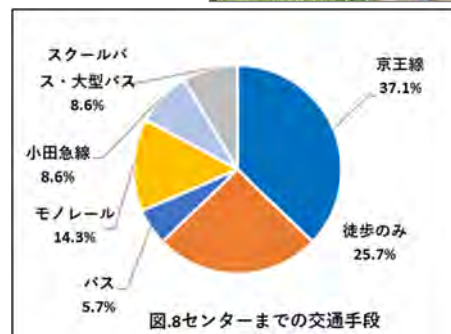
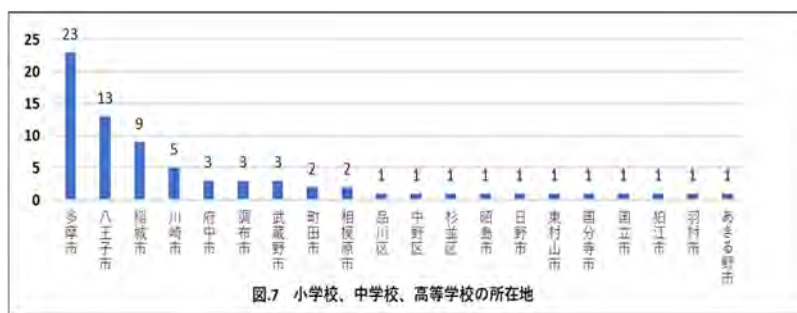
お客様の声④

アンケート結果（小学校等団体見学）

	学校数	アンケート回答数
小学校	47校	32件
中学校	26校	2件
高等学校	1校	
合計	74校	34件

令和4年度

	学校数	アンケート回答数
小学校	44校	36件
中学校	13校	0件
高等学校	2校	0件
合計	59校	36件

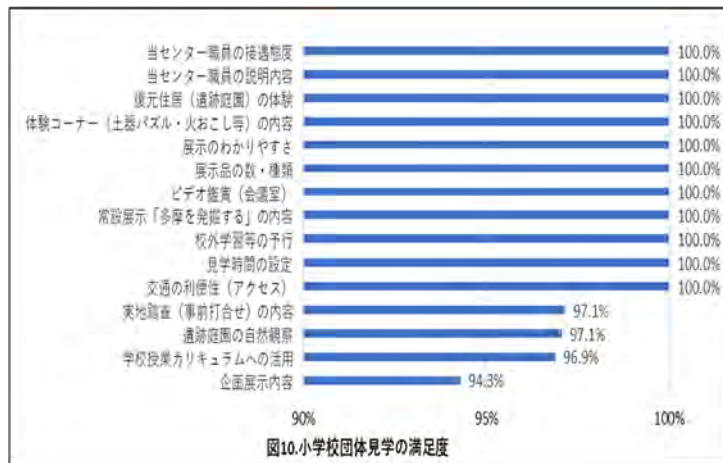


次に、学校団体見学のアンケート結果です。

新型コロナウイルス収束に伴い、昨年度の59校から74校に増加し、近隣以外の学校も増加しました。

お客様の声⑤

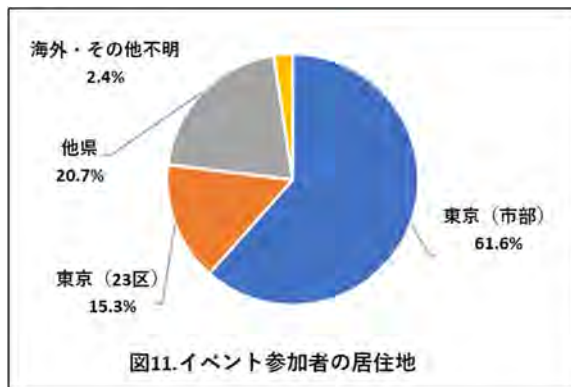
アンケート結果（小学校団体見学）



満足度は昨年度と同じで11項目で100%を獲得しました。
丁寧な事前打ち合わせと、丁寧なご案内を行った結果と考えています。

お客様の声⑥

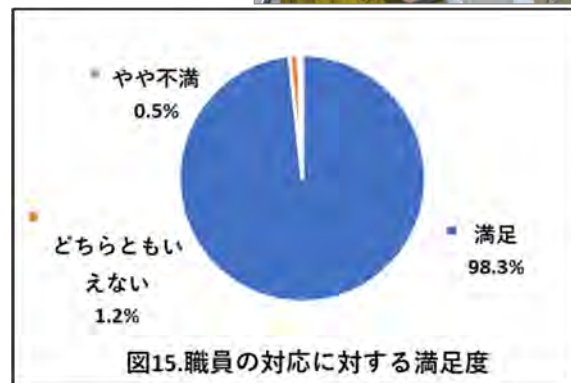
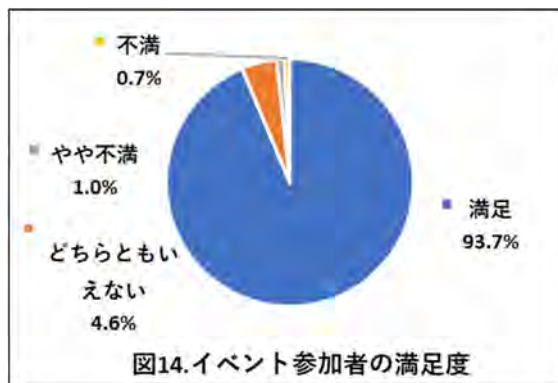
アンケート結果（イベント参加者）



次にイベント参加者のアンケート結果です。
昨年度とほぼ同様の結果です。都内、特に近隣の方が多く、その多くはリピーターでした。

お客様の声⑦

アンケート結果（イベント参加者）



イベント満足度、職員の対応の満足度ともに、高い評価をいただきました。

お客様の声を活用した事例

- ・特別収蔵庫前のベンチに誰か座っていると土器が見づらい、
- ・大理石のベンチが硬くて冷たい



見づらい展示がある ビデオの説明があるとっと良い



見学するのに時間がかかるので、もっとベンチがほしい



お客様の声を活用し、大理石のベンチの設置場所を移動し、クッションを用意しました。

そのほかにもさまざまな改善を実施しています。

地道な改善を続けた結果、施設改善のご要望も少なくなっています。



最後に、令和6年度の企画展示「多摩の”なんで!?”な出土品」について触れさせていただきます。

博物館では、一般に「わかっていること」を中心に展示しますが、今回は、考古学者でも首をひねる、「よくわからないこと」に着目しました。

見学者のアイデアを募り、学芸員が意見を付けて展示にフィードバックする双方向的な展示を行っています。

多くの方からアイデアをいただき、学芸員も発想の豊かさに驚きつつ、展示に反映させています。

わたくしたちはこれまでと同様に、たゆまぬ努力と改善を重ねながら事業に邁進してまいります。

以上で説明を終わらせていただきます。